

## 浜名地区明湖会

### 事八日と送り神

### 「大倉戸チャンチャコチャン」神事

広報委員 飯田 敏郎

浜名地区では、毎年二月と十二月に市指定無形民俗文化財であるチャンチャコチャン神事をおこなっています。以前は曜日に関係なく八日におこなっていましたが、近年は八日近くの日曜日に合わせ、今年度は十二月七日と二月八日におこなわれました。

子どもたちが主役であるチャンチャコチャンですが、近年の少子化の波に押され、この地区の子どもも数人になってしまいました。ただ、このピンチの状況を逆境と捉えず、地元から出られたお父さんやお母さんの子どもたちを誘って何とか開催することができました。逆に地元だけでなくいろいろな地区からの子どもたちの交流の場としても有効だと思っています。また、子どもたちの「お

父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんの子どもの頃にも、みんな同じことをやったんだよ」と遠くにいる孫たちに見せるいい機会だと感じています。

午後二時半に恵比須神社にて僧侶による祈祷の式を終え、鉦かねの音のもと、地区の西から東へ移動しながら各所で、子どもたちが笹竹をバンド船に乗った人形（デックラボ）にめがけ、「オオクラドのチャンチャコチャン」と一斉に振り下ろし、疫病を追い払いました。

寒い中でしたが、準備や神事の実施にご協力いただいたみなさま方、ありがとうございます。ありがとうございました。

